

公孫樹

2021年12月発行

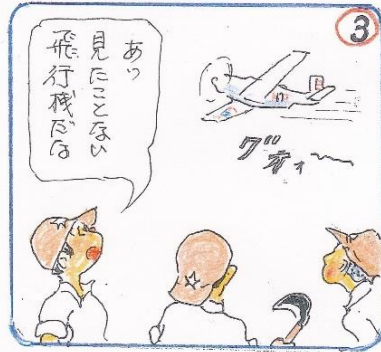
第119号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726

A cartoonist-2



※ どんぐり運動能力が劣っていること

西里定一 作 ① 空襲体験

いま なすべきことを な
了解をいただいて西里さんの多岐にわたる漫画を、扉絵にさせていただいでいくことにします。今回と次回は空襲体験のお話です。

歴史が大きく変わろうとするときには、一時まるで歴史が逆戻りしてしまったかに見える事態が生じることがあります。いまがその時かもしれない。しかし大きく飛び上がるためには、後ろに下がって助走をつけて飛び上がらなければ、溝を飛び越えられません。草の根からの助走…。

総選挙後の国会内外の様相は、憲法を変えようと声高に叫ぶ勢力が国会内で三分の二を占め、今にも国民投票にもちこもうとする勢いです。憲法九条を亡きものにすることに狙いを定めています。危険極まりないことです。

まさか日本が再び戦争をする国になることはない、戦争など二度と起こしてはならないと多くの国民が願っているのに…。いつの間にか事態はどんどんと外堀が埋められ、内堀も埋められてしまってきました。

カエルを熱いお湯に入れるとびっくりに飛び出しますが、水の中に入れてゆつくりと温度を上げていくと、ついにはカエルになってしまふ…。いまの事態は、ゆでガエルにされてしまいかねない一歩手前まで来てしまったという感じです。このままではいけない、この事態を放置しておいてはいけなと思っています。

弁栄上人の「なすべきことを怠るの罪」に陥ることのないように、新しい年に向けて、決意新たに進まなければならぬと考えます。十七年前、住職を拝命した夏、お檀家のみなさんに回廊をお配りしたことがありました。その裏には「憲法九条を守る」と刷り込みました。その初心に帰らなければなりません。

12月の行事予定



1日(水)	写経 映画会	午前10時～ 午後7時半～
8日(水)	念仏会	午後7時半～
12日(日)	成道会・ひとり人形芝居 「ぶんぶくぶんぶく」	午後1時～法要 午後2時～ひとり人形芝居
15日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生 男性詠唱隊	午後1時～ 健康教室・歩き方教室 参加費500円 午後7時半～
19日(日)	子ども会・クリスマス会	午前10時～
22日(水)	読経会	午後7時半～
25日(土)	戦没者慰霊	午前11時～
9日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時
10日・24日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 子ども 無料 大人 500円
28日(火)	寺、周辺の住宅屋根・樋 掃除	午前8時半～
31日(金)	浄焚式・除夜の鐘	午後2時～浄焚式 午後9時～仏名会・除夜鐘

慶威院豆知識 ⑬



境内の銀杏、気候変動のなかにあっても、たくさんの実を落としてくれました。黄葉にはまだ少々時間がかかりそうです。十一月になって寺世話人さんが二人ずつ交代で、朝六時半から掃除をしてくださっていますが、銀杏が裸樹に変わるのは十二月末。これからの境内や道路を黄色に染める銀杏落葉の清掃は、それは、それは、重労働。大変お世話になります。ありがとうございます。

すっぱりと空いた秋天に舞う悠々たる鷹の姿を見ていると、波風たてぬ心のゆとりが染み出て来るように感じます。

「天地自然のままにまかせよ」と白楽天は詠じました。正しい行いをして自然の成り行きに任せて生きていけ…というのです。仏教に言う「縁に任せる」生き方に通じます。

「真の道は日頃の暮らしの中にある」

「ゆるす心」

「独り占めしない心」

「おかげさまで、なんとか間に合っています」と静かに生かさせていただいています。

(榮子)

浄土宗新聞を無料で

お渡しします！！

12月号読みどころ

P.1…「自身を振り返り、清々しい心で新年を」
読んでいただきたいと思います。

12月31日、慶蔵院で午後9時から行われる
仏名会、百礼拝の説明や除夜の鐘についてまと
められています。つねに「愚痴の法然坊」と称
して、「自身の欠点やいたらなさに気づくこと
の大切さを強調された」法然上人を振り返り、
心清らかに、心機一転、新たな年を迎えましょ
う。

P.11…「心のカレンダー『風』販売」は、コロ
ナ禍まで毎年5月に開催されてきていた「てら
こや交流ひろば」で販売し好評をいただいてき
た「森のクッキー」を製造してくれている大分
の障がい者福祉事業所でつくられたものでし
た。丹羽住職とは大学の合唱部で一緒でした。



開催日時 12月12日(日) 14:00~
開催場所 慶蔵院「一会館」
三重県伊勢市小俣町元町1211
問合せ先 TEL 0596-22-3726

新作
「ぶんぶんくぶんぶん」
山添真寛
ひとり人形芝居
成道会 12月12日(日)
1時~成道会法要
2時~



☆ご連絡☆

- ① 今年も 12月28日(火) に、業者さんをお願いして、ご近所の屋根・
樋のつまりを掃除させていただきます。8時半からはじめます。例年、
寺世話人さんに出ていただいて、境内の最後の大掃除をしていただい
ております。お手伝いしていただける方がありましたらお願いします。
- ② 月訓カレンダー・年間行事計画表をお受け取りください。
- ③ 来年の年忌、該当するお家にご連絡
させていただきます。

31日(金) 除夜の鐘

福引と甘酒、ぜんざいをどうぞ!!

仏名会 午後9時~11時半まで、本堂で礼拝、木魚念仏

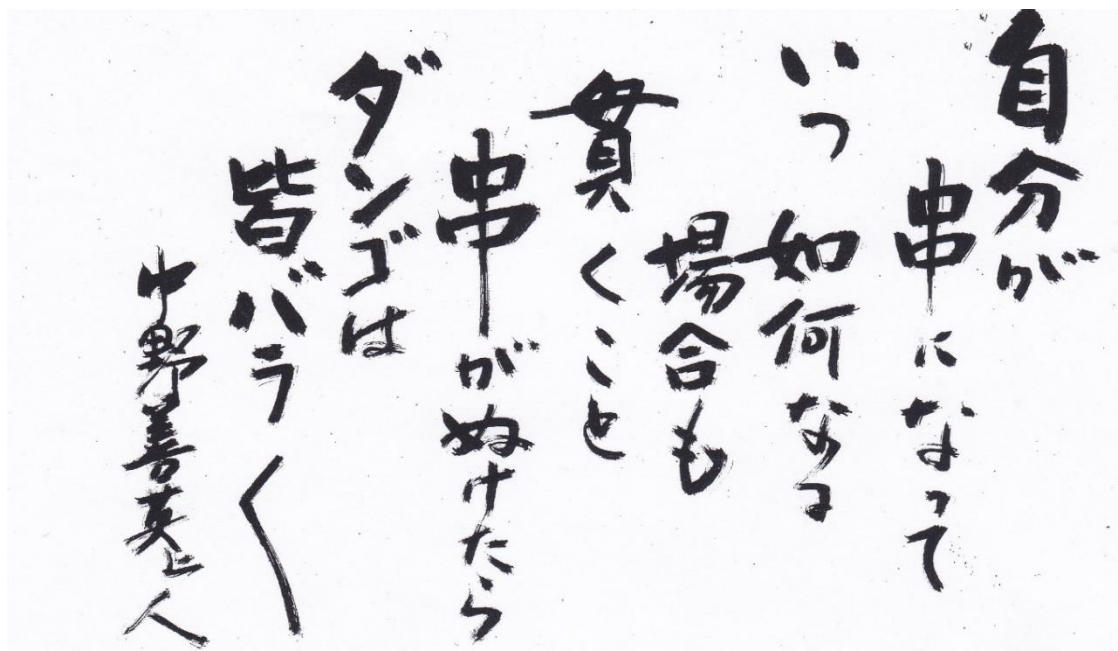
修正会 午前0時すぎより



木の葉散る風と仏の鼻歌か

奥田 悦生

(「知恩」誌十二月号「柳壇」に掲載)



念仏を称えて串となり、人と人をつなげていかなければ、家族はもとより、今生の人と臨終を迎えた人がバラバラになってしまう。串になることは僧侶としての務めではないか…。

こんな電話が多くなってきた。

「お葬式はナシにして葬りたい」「火葬にした後でお寺に伺うので、その際に戒名だけをいただきたい」「お経は、火葬場だけでお願ひします。予算が限られています」電話をかけてくることは、まだ縁が繋がっているのにちがいない。

対応をどうするか思い悩まされる。亡くなった方が、両親や祖父母、子供、親戚…とケースは色々である。放っておくことはできない。「会って話をしましょう」と火中に飛び込むことになる。

「あなたが小さいときに親がかけてくれた時間、見守りと思いはどれだけ深いことか…。念仏を精一杯送らせていただくことが務めではないのか…。臨終に際して、自分の時間と気持ちをどこまで捧げることができかが大切なことではないのか…。精一杯できることを努めたいというのなら、引き受けさせていただく。予算が無いならナシでいい…」

相手の可能な範囲の日程と時間の中で、「ともにお念仏を…」とすすめて精一杯の葬儀をつとめさせていただくことになる。

結果は徒労に終わることも多い。そんな場合は「安い葬儀費用で済んだ…」とも思われているのだろうか…。「檀家さん以外からの葬儀の申し出は断るべきだ」との声もある。しかしこちらから断ることはしない。あくまでも最善の串になりたいと思う。

横井久美子の歌が聞こえる。

「生きることはいつも、淋しさがみちづれ…夢を追い求め、淋しさにおそわれ、いくたび涙を ながしたことだろう…いくたび黙ってしまっただことだろう。この道をこれからも歩いていくつもり…はてしなく長いけど、たとえたおれても ステキな人生さ…夢をみながら たたきたい」

一本の串にならねばならない。